【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】令和6年6月3日(2024.6.3)

【国際公開番号】WO2023/047945
【出願番号】特願2023-549457(P2023-549457)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｇ　4/32(2006.01)
Ｈ０１Ｇ　4/232(2006.01)
Ｈ０１Ｇ　4/252(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｇ　4/32　５３０
Ｈ０１Ｇ　4/32　３０５Ａ
Ｈ０１Ｇ　4/32　３０５Ｂ
Ｈ０１Ｇ　4/32　５３１
Ｈ０１Ｇ　4/232　　Ｂ
Ｈ０１Ｇ　4/252　　Ｃ

【手続補正書】
【提出日】令和6年3月12日(2024.3.12)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
コンデンサ素子と、
前記コンデンサ素子の端面に配置された外部電極と、
前記外部電極に接合されたリード端子と、を備え、
前記外部電極の、熱機械分析装置の針入モードで測定された３５０℃における針入量Ｐ３５０は、前記外部電極の厚みの５％以上３０％以下である、コンデンサ。
【請求項２】
前記針入量Ｐ３５０は、前記外部電極の厚みの７．５％以上２５％以下である、請求項１に記載のコンデンサ。
【請求項３】
前記針入量Ｐ３５０は、前記外部電極の厚みの１０％以上２０％以下である、請求項１または２に記載のコンデンサ。
【請求項４】
前記外部電極の、熱機械分析装置の針入モードで測定された１２５℃における針入量Ｐ１２５は、前記外部電極の厚みの５％以下である、請求項１または２に記載のコンデンサ。
【請求項５】
前記外部電極は、メタリコン電極である、請求項１または２に記載のコンデンサ。
【請求項６】
前記外部電極は、亜鉛とアルミニウムとの合金を含む、請求項１または２に記載のコンデンサ。
【請求項７】
前記コンデンサ素子は、内部電極を備え、
前記内部電極は、金属化フィルムにより構成されており、

前記金属化フィルムは、樹脂フィルムと、前記樹脂フィルムの少なくとも一方の主面に形成された金属層と、を備える、請求項１または２に記載のコンデンサ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５５】
本願は、２０２１年９月２７日付けで日本国にて出願された特願２０２１－１５６８７３に基づく優先権を主張し、その記載内容の全てが、参照することにより本明細書に援用される。
＜１＞
コンデンサ素子と、
前記コンデンサ素子の端面に配置された外部電極と、
前記外部電極に接合されたリード端子と、を備え、
前記外部電極の、熱機械分析装置の針入モードで測定された３５０℃における針入量Ｐ３５０は、前記外部電極の厚みの５％以上３０％以下である、コンデンサ。
＜２＞
前記針入量Ｐ３５０は、前記外部電極の厚みの７．５％以上２５％以下である、請求項１に記載のコンデンサ。
＜３＞
前記針入量Ｐ３５０は、前記外部電極の厚みの１０％以上２０％以下である、請求項１または２に記載のコンデンサ。
＜４＞
前記外部電極の、熱機械分析装置の針入モードで測定された１２５℃における針入量Ｐ１２５は、前記外部電極の厚みの５％以下である、＜１＞～＜３＞いずれかのコンデンサ。
＜５＞
前記外部電極は、メタリコン電極である、＜１＞～＜４＞いずれかのコンデンサ。
＜６＞
前記外部電極は、亜鉛とアルミニウムとの合金を含む、＜１＞～＜５＞いずれかのコンデンサ。
＜７＞
前記コンデンサ素子は、内部電極を備え、
前記内部電極は、金属化フィルムにより構成されており、
前記金属化フィルムは、樹脂フィルムと、前記樹脂フィルムの少なくとも一方の主面に形成された金属層と、を備える、＜１＞～＜６＞いずれかのコンデンサ。